

議 長 次に受付番号第6号、石内浩君の一般質問を許します。登壇願います。

9 番 石 内 一般質問をさせていただきます。受付番号第6号、質問議員、第9番 石内浩。件名、交流人口増加への取り組みについて。

要旨、去年はオール松田「おもてなし宣言」、ことしも新しい取り組みが多く提案されています。町民が最も望んでいることは、マスタープランにも載っております「地域資源や人財が交流し、人情味あふれる、ふれあいが活発な町づくり」と思われますが、次の点についてお伺いいたします。

(1) 町の交流人口の実態と、これからのあるべき姿とは。

(2) 「おもてなし」の上での、「緑と清流の町」の具体化策とは。

以上、よろしく願います。

町 長 それでは順次、石内議員の御質問にお答えをさせていただきます。1つ目の質問についてでございますが、まず交流人口についてであります。町の観光来客人数としての統計でございますが、平成28年1月から12月までの統計で約58万5,000人となっております。各祭りの天候にも左右されますが、おおむね60万人を推移しているということであります。桜まつりやロウバイまつり、きらきらフェスティバルなど、増加傾向にあり、関係各位の御尽力やメディアへのPRを含め、多くの方々に町のイベントが浸透してきたというふうなことだというふうに思っております。私といたしましても、今後も定住人口の増加を目指すことはもとより、まずは交流人口をふやして町の魅力を来町者や地域の皆様方にも再認識をしていただきたいというふうに思っています。

そこで新たな取り組みといたしまして、町では一昨年におもてなし宣言を行い、ふるさと大使の任命やおもてなし検定を進め、国際交流事業といたしまして、観光まつりや桜まつりへの外国人の誘致。去年はクールチョイス宣言後の関係事業といたしまして、講演やソムリエ塾などの実施、また松田氏サミットなど、歴史・文化事業を実施させていただきました。継続的な観光イベントといたしましては、若葉まつり、まつだ観光まつり・あしがら花火大会、きらきらフェスタ、寄ロウバイまつり、桜まつりなど、さまざまな事業の展開をすることで、交流人口の拡充に努めてまいりました。町のあるべき姿の実現のためには、松田地区の西平畑公園から見える富士山と早咲き桜の景観や夜景など、

寄地区の地域資源を自然休養村として活用し、また中津川の清流、宇津茂地区のロウバイ園、土佐原地区の枝垂れ桜などなど。また松田町全体の地域資源を県や国、メディアなどに取り上げていただけるように、町の情報や特徴を売り込むような取り組みを進めております。

このように施策を着実に実施していくためには、町民の皆様、また事業者、行政が住みたいというまちづくりのビジョンを共有し、それぞれの役割を分担して、お互いに持てる力を発揮し、ともに連携していくことが必要と認識しております。私が交流人口増加策として描く街のあるべき姿の一端といたしましては、若者が住みたくなるおしゃれな街、外国の方々も住みたくなる国際的な街、観光事業を中心としたさまざまな産業を融合させ雇用が生まれる街、若い事業者が活躍する街などなど、そんな街になればなというふうに考えているところでもございます。

続いて2点目の、おもてなしの上での緑と清流の町の具体策にお答えをさせていただきます。議員も御承知のとおり「緑と清流のまち、ゆとりを楽しむきらめく松田」は、平成23年度からの第5次総合計画での将来像として位置づけられているものでございます。また松田町は古くから上郡の中心地として栄えてきた町であり、現在も多くの方々に御来町いただいております。その方おのをおのを心からもてなす、また町民同士の思いやりによるおもてなしを推進しようと、平成27年度オール松田おもてなし宣言を行ったところでございます。

そこで、昨年度策定いたしました地方創生のための総合戦略では、第5次総合計画での将来像、またおもてなし宣言の精神を取り入れ、「緑と清流のまち、ゆとりを楽しむきらめく松田」のサブタイトルといたしまして「自然と町が融合した、おもてなしのまち」を目標として掲げました。先ほど述べましたように、交流人口を増やし、今後定住していただくよう、さまざまな取り組みを展開しているところでございますが、これまでのように町のよさや強み、認識、情報を共有しながら展開していくことが大事になります。また、その取り組みに心が伴っていることが肝要であることから、今後もオール松田おもてなし宣言を理念に据えたまちづくりを、町民と一体となって推進してまいりたいとい

うふうに考えております。言いかえれば第5次総合計画の施策に、新たにおもてなしの精神といった心、魂を入れていくこととなります。心や魂が入っていない計画では郷土愛が生まれず、未来的には人口が減ってしまいますので、その点を大切にしながら推進してまいりたいというふうに考えております。

御質問の具体策ということでございますが、緑と清流ですので、緑は寄や最明寺公園の新緑であったり、山々の息吹き。清流については酒匂川、川音川、中津川での魚釣りや水遊び。そんなすばらしい素材を生かしながら考えてまいりたいというふうに考えております。

昨年度1市5町で取り組んだ、あしがらローカルブランディングも、「あしがらの水」を基本コンセプトに、ポスターやチラシ、小田急線の車内広告動画が流れ「あしがら」のイメージ戦略を行ってまいりました。ただ、緑と清流に対して何もしない、自然任せでは守れないものとなります。なので地球温暖化を防止するためにも、CO₂削減に向けて、小さな町だからこそできることを全町的に取り組む必要性があるというふうに思います。全てのことに言えることですが、守るためには守るための行動を計画的に実行することが不可欠だというふうに考えております。比較的に大きな課題ではございますが、我々行政だけでできることではありませんので、自然の恵みを無限でなく有限なものとして捉えて取り組むことが、緑と清流の町を守ることにつながり、またおもてなしの上でもこの取り組みに理解いただけるものと思っておりますので、皆様方におかれましても、今後CO₂削減等々の事業推進により一層御理解と御協力をお願い申し上げたいというふうに思います。以上でございます。

9 番 石 内 焦点の絞れない質問に対して具体的に回答ありがとうございます。ちょっと質問と離れるかわからないですが、あるお年寄りから言われたことが今でも耳に離れないんですけども。家の近く散歩しても、同年代で話し相手がいない。こういうことを言われたことがあるんですよ。確かに今、お年寄りの数が多くなってきておりますし、そういう意味でのフォロー体制、町でもいろんな施設なり対応をしてるわけなんですけど、確かに追いつかない部分、また個人主義というか、いろんな個々の対応の仕方があるんで、それぞれが参加したりなんかするという部分で、非常に難しいと思うんですけど。具体的に今、社協で行って

いるデイサービスであるとか、地域の茶の間、この辺での参加状況が、最近の推移、そういうもののデータがあれば教えていただきたいと思います。

議 長 福祉課長、わかりますか。なければないで。

福祉課長 すいません。今手元に持ち合わせてございません。申しわけございません。

9 番 石 内 ぜひですね、この辺の推移というか、それは気をつけていただかないと、せっかく茶の間、いろいろなサロンをやっていただいているし、そういうことでボランティア的な活動をされてる方もいっぱいいるわけなんで、そういう方のためにも、また先ほど言った、交流という意味ではまず町の中の交流、こういったものも十分考えていただきたいと。そういう意味で、ある町ではですね、保育園児とか幼稚園児がわざわざ老人が集まる場所へ散歩に行くと。そういうことをやることによって、運動会とかに参加者が非常にふえてきた。またあるところでは空き家を利用して、松田もやってるんですけども、いろいろな老人の集まりのクラブとかが使って活用して地域の活性化を図ってる。そんな情報があるわけなんです。町でもいろいろやられてるのは十分承知の上で、新しいそういう取り組みを町として考えているのか。またこの近郊でどんな方法を何かやっているケースがあるのか。その辺があつたら教えていただきたい。

議 長 9番に、一般質問のですね、この要旨の趣旨と今の関係が担当課長のほうがわからないと思いますので、そこを説明してですね、再度質問をお願いします。

9 番 石 内 確かに離れ過ぎちゃったかもわからないけど。要は交流って、まず身近な交流という、みずから先に行っちゃったんで、大変飛んじっちゃったかもわからないですけども。町でやられてる部分、非常に評価してる部分ありますので、ぜひそういうものは継続していただきたいし。そういう意味の実績とですね、数ぐらい、例えば茶の間サロンですか、その辺のあれがかなり定着してるわけなんで、その辺で話によるとあるところでは固定化しちゃってるんじゃないかというような話も聞いているんですが。その辺の動向、答えはいいです。ぜひ捉えていると思うんですが、引き続きその辺でのフォロー、よろしくお願ひしたい。

それとですね、先ほど町長からも交流の場、いろいろな事例、具体的なものをやられてるといふのは聞いております。具体的に松田で一番やっぱり交流人

口が目立つところというのは、やっぱり新松田駅前じゃないか。先ほど町長の話にありました。前者も、松田へいろいろハイキングコースでおられる方がいる。しかし見ていると、ほとんどが駅おりにてバスの乗り合い場所へ行っちゃう。確かにそういう意味で松田の先ほど前者の話じゃないですけど、松田とのいろいろなハイキングコースの整備、そこでの利用者の拡大、そういうのをぜひお願いしたいんですが。以前からトイレ、ベンチ、そういう要望がいろいろ話がありました。ここでその話を蒸し返すつもりはありませんが、1つお願いしたいのは観光案内図。松田にないんですね。駅をおりてやはり松田がどういうところって観光でアピールしているのか、その辺がわかるものをやっぱりどっかにお願いしたい。そういう面での検討をされてるかどうか。あったら教えていただきたい。

観光経済課長 　　ただいま御質問いただきました、町の案内ということで、よろこばしく松田町ガイドブックと、トレッキングハイキングブックという、このようなパンフレットを初め、先ほどお話しさせていただきました、1市3町のハイキングマップ等を含めて、あそこのコスモス館のところに4月以降置かせていただいて、お客さんが来たときに見せていただくような形をお願いをしていますので、大きいのだとこのような形で、松田町全体を載せた図面もハイキングコースとして整備しているところをあわせて入れさせていただきながら、いろんなポイントのところを全部載せさせていただいた、このようなマップを駅前でも、役場、それから管理センター等でも配布のほうさせていただいてるところです。以上です。

議 長 　　観光案内板の設置は。

参事兼政策推進課長 　　すいません。駅の観光板のお話だと思います。たしか小田急の駅の中に、改札入ったところに大きな看板があると思います。ただ、ちょっと我々の中ではちょっと見にくいとかという話が出てますので、あれをどこかリニューアルをしていこうかという話はちょっと内部では出ておりますけれども、看板としては小田急の駅の構内…構内というんですかね、あれは。コンコースの中にある、トイレの横にたしかあるというふに感じております。よろしく申し上げます。

9 番 石 内 　　そういう意味で確かにあるということは見てるんですけども。確かにおりる

人っていうのは、そんなに見ておられる人は少ないですね。バス待ち合いとか、やっぱり時間ある人っていうのを、そういう人の対象ということでね。大体出てから看板があるわけ、大体観光地はね。私もちょっと見たら、駅舎の外壁、多少あいてるところあるんで。これは小田急側と調整しなきゃいけない話ですけど。その辺で調整していただいてですね、今言った大きな看板で、わかりやすい松田の観光案内図、そういったものの検討をぜひお願いしたい。これは要望として終わります。

それとあと、駅にですね、いろんな要望、先般ありましたけども。松田の水飲み場、これ、非常に衛生上いろんな問題あるかわかんないですけども、そういうものの検討というのはされたことがあるんですか。松田の水が、産業まつりでも非常においしいという評価をいただいているわけなんで、その辺で水道の設置等、できるものならやってもらいたいと思うんですが、いかがでしょう。

参事兼政策推進課長 すいません。松田の駅おりて、水飲み場というお話。ちょっと今まで、私も長くいますけど、ちょっと出たことないんで。新しい御意見として伺って、できるものなら小田急さんと調整したいと思いますけども。何せ小田急さんとの調整になろうかと思えます。

9 番 石 内 一応、一応じゃなくて、前向きで検討していただきたい。特に真夏はですね、相当暑い。松田の水は御存じのように、夏は冷たく冬は温かいわけなんでね。その辺で松田の水の宣伝。そういうお客さんが来たときの松田のよさ、そういうものを示すためにもいいチャンスになるんじゃないかと思えますので、よろしくをお願いしたいと思います。

ちょっと視点を変えますけども、交流という意味で関係あると思うんですけども。さがみ信用金庫の道の反対側に、県のレンタル自転車の置き場があるんですが、これについては町との関係とか町の受け入れ体制、具体的にどういうものがあるのかお聞かせいただきたい。

観光経済課長 ただいま御質問いただきました自転車のレンタルの関係につきましては、特に町のほうとですね、私が来てからは特にどうこうというようなことは、今のところは話し合い等は実施はしておりません。以上です。

9 番 石 内 これ、町に全然関係なしに置かれたってことですかね。常時電動を含めて五、

六台置いてあるのかな。ほとんど利用者は少ない。土・日に、たしか半分ぐらいあくときあるぐらいですよ。非常にもったいない感じがするんですよ。あの場所というのは、また目立たないんですね。あれ、申し込みはたしかネットかあれで全部できるんじゃないかと思うんですが。先ほどの町長の話じゃないですけど、交流ということで考えれば、例えばちょっと不便でもJR側に持ってくるとかね、町の中を多少動くような方法というものを考えてもいいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

町長 まず整理しなきゃいけないのは、県がですね、あの事業は県がたしか、私の記憶だと、民間に事業委託をして、民間が民の土地も含めて探してた。それであの場所をお借りをしてあの事業をやっているというふうに過去に聞いた記憶がありますので。ただ、その内容を町側がしっかりと管理をしておかなきゃいけなかったということであれば、それに対して我々もちょっとわびなきゃいけないこともあるんですけども、実際はそういった格好で今運営をされてるということであります。山北さんと、あと開成と、あと南足柄と、あと小田原のほうですかね、あの辺にずっとそういった格好でやってる事業です。ですから我々のほうが、例えばJRのほうに土地がありますよと。一部でも提供してもいいですよということが、話ができるのであればいいんですけど。ただ、こんな話もありました。あの事業はたしか1回もう終わっちゃってるんですね。県のほうの補助金を出して民間がやるっていう一つの事業は。あとはもう民間のところへお金を回してるという、それで今、事業経営がやってるということだというふうに思ってますので、あれがなかなか使う人がいなくて収入がなくなったら、当然撤退をしていくというふうな事業でなかろうかというふうに思っておりますので。今後観光経済課のほうでも一応確認をさせてですね、町がどれだけ絡むことができるのか、その辺は確認をしてからまた報告したいと思います。以上です。

9 番 石 内 ぜひその件はよろしく願いいたします。交流人口という面です、今私を感じる一番交流人口ということで実績を上げてる場所っていうのが、先ほど言った新松田駅前と。私は松田中学校の体育館と運動場。体育館についてはあれだけの設備ですから、ほかに引けを取らないような設備だと思います。松中

のグラウンドの場合は、私は決していい環境じゃないと思うんですね。水はけの悪いグラウンド、それとフェンスも破れかかったネットが多い。それとナイターに至っては照明灯が半分以下。半分以上切れちゃってる。そんな中で使い勝手が非常にすごい。軟式野球、中学生の野球の練習試合が月に二、三回やってる。夜はベルマーレの下部組織ですか、サッカーの子供たちの練習がある。最大の大きいのは、月に二、三回ソフトテニス、これが県下、横浜も来てるようですけども、川崎、相模原、もうほとんど県下。それと静岡からも来てるんですね。私、人数勘定したことないですが、多分あそこ10面ぐらいつくっちゃうんですよ、仮のコートを。そこでやってまして、多分150人か200人いると思います。聞いてみましたが、何で遠くから来るのって。多少電車に乗る時間が多くても駅が近いから。駅近ですよ。これ、先ほど町長からもいろいろ答弁ありましたが、この駅近の魅力っていうのは、松田最大限に生かす方法をやっぱり考えなきゃいけないんじゃないか。

そういう意味で教育課中心に今の状況等把握されてると思うんですが、あのソフトテニスについてはもう七、八年たちますかね。あのカリスマの女の先生が来てからずっとですから。その辺でそういう状況で、何か特殊的なものがあればお聞かせいただきたいと思うんですが。

教 育 課 長

ただいまの御質問にお答えします。石内議員さんから御意見ありましたとおり、ソフトテニスにつきましては、確かに全面を使った利用というのをここ何年か見ております。その中でグラウンドの隅にコートが1面、あと北側のほうに1面あります。グラウンドのほうのコートにつきましては、大分芝の部分がはがれていまして、今すぐできるものではないので、業者のほうに見ていただきまして、どのくらいかかるかっていうのを算定をしておるところでございます。

それともう一つの北側のほうの民家に通ずるところのテニスコートなんですけど、そちらにつきましてはグラウンドよりも大分状況はよいのですが、砂が流れてるといった状況もございます。砂は珪砂といいまして、特別な砂でございます。そちらのほうにつきましては耐久性を持たせるために、砂をまくということで購入ということを考えておりまして、今後学校とも相談をしながら、予

算の状況に応じて修繕をしていきたいというふうに考えております。以上です。

9 番 石 内 　ぜひいろんな面での協力体制、よろしくお願ひしたいと思うんですが、確かにそのカリスマの先生が今ちょうど中心じゃないんですね。あれ見るとやっぱり、ほかの先生もどんどん交代というか、伝統を引き継いでやってるということで、非常にすばらしいと思うんでね。ぜひ何らかの形で町が応援できるものはやっていただきたいと思います。先ほどの水の問題じゃないですが、話じゃないですけど、例えば水ぐらいね、この夏の間、支給してやるとかね。松田のうまさを多少宣伝するとか、そんなものが考えられたら、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。これについては回答いらぬです。

　駅近を活用する一つの方法というか具体策としてですね、川音川の親水公園。この整備をですね、ぜひやるべきだし、やっていただきたい。その1つがパークゴルフ場の18ホール化。18、9ホールの増設について、現在の進捗状況をお聞かせいただきたいと思います。

まちづくり課長 　説明させていただきます。本来ですね、公園管理者がまちづくり課ではございませんけども、この事業につきまして県との調整をするようにということで仰せつかっております。現在上流部に向けて9ホールの拡幅ということで検討をしてですね、観光経済課の職員とですね、ともに、ホールのレイアウト、概略のですね、レイアウトを策定して、県西土木事務所のほうに一応図面として提出してあります。ただし河川法の中で、使える面積であるとか、道路用地であるとか、通路を確保しなさいとか、そういった条件がたくさんありますので、それを踏まえた中で今後新たに占有ができるのかどうかということ、今県のほうに投げかけているところでございます。以上です。

議 長 　じゃあちょっと放送を待ちましょう。再開します。

9 番 石 内 　確かに今パークゴルフの利用率っていうか、あれを見ますとですね、午前中は多いんですね。午後になるとぱらぱらになっちゃう可能性があるんですけど。やはり9ホールですと、そんなに長くやれない。飽きちゃうという部分があるのかわからないですが。ただ、ここで言えるのは、相模原とか町田、あの辺からかなり来てる方が多いんですね。松田が飽きちゃうと大口のほう行ったり、山北行ったりということ、話を聞きながら行ってるみたいなんで。ぜひ早

くこの18ホール化してですね、お客を呼び込む。駅近のパークゴルフ、駅から歩いて行けますよ。駅から数分ですよってということでやれば、かなりのお客さんの宣伝になると思うし。また川音川親水公園としてもですね、あの芝生が広がると非常にきれいな感覚になる。今でもあの辺歩いている人がよく尋ねられるんですが、あそこから見る富士山っていうのはすばらしいですねってよく言われるんですよ。確かに私も川音川が好きでしょっちゅう歩いてるんですけども、あの辺からの見る富士山、川の流れと松田山を含めて、かなりすばらしい。そういうことを含めて、今、川音川沿線に公園が、中丸と反対側の店屋場、それとこっちへ来て、ありますよね、宮下公園。それと三角土手と下原。この公園をですね、何らかの形で結びつけて、パークゴルフやった人でも、あそこにこういうものがあるからどうですか。こういう動線をつくれれば健康湯への活用もできるんじゃないか。疲れた後、温泉もありますよ。温泉じゃないですけどもね、お湯が。あそこも入れればまた眺めもいい。川音川の沿線、土手歩くっていうのはそんなに疲れるわけじゃないし、芝生の上ですからね。足の多少悪い人だって十分歩けるわけです。これをうまく使って、多少、本当の短いハイキングコースですけども、ぴょんぴょん橋が2カ所あったり、非常に楽しみがあると思うんです。

それと、宮下公園のほうは御存じだと思うんですが、あそこはしょっちゅうプロかアマチュアかわからないですが、カメラマンが相当群がってますね。何かといたら、あそこの鉄橋でロマンスカーが通って富士山を撮る。いつまでたっても絶えないですよ。必ず来てます。そういうことを含めて、またそういう富士山の見方もいろいろ公園によって違うし、そういうことでの宣伝効果になると思いますので、そういうものを含め、現状の公園の改良というか、手直しをぜひお願いしたいと思うんですが、それについてはいかがでしょうか。

観光経済課長

ただいま御質問いただきました前段の公園を、パークゴルフが終わった後の、パークゴルフ場を起点としてですね、今おっしゃっていただいた三角堤公園、宮下公園等を含めた回遊するようなA4のチラシと、季節にいい花が咲いていればそれらをPRするようなチラシ等は作成を今後考えていきたいと思っております。ただ、公園の改修ということになりますと、ちょっと今具体的なこと

が出てないんであれなんですけど、今のところは今ある町うちの公園については、今の現状のほうを維持をさせていただいて、何か支障とか問題があった場合は、必要な修繕等は実施をさせていただきたいと考えております。以上です。

9 番 石 内 具体的にどうやるかというのは私もわかりませんが、要は連携をとれるようなね、例えばそういうパンフレットがあれば、パークゴルフ場に置くとか、それと健楽の湯についてもですね、桜まつりのときにあの辺歩いてますと言われるんですよ。この辺に温泉があるって話聞いてるんですけど。結構いろんな話聞いてる人がいるんですね。桜まつりであそこまで歩ける人っていうのは何でもないんですね、駅からあそこまで行くっていうのは。だから桜まつりもそうですけども、何かほかのときでも、何にも健楽湯についての宣伝というものが無いし、道にも橋のところにもでもそういう行き場所ぐらい指示してもいいんじゃないかなと思うんで、その辺も含めてよろしくお願ひしたいと思います。これは要望です。

最後に川音川の件でもう一つお願ひしたいのは、先日酒匂川・川音川クリーンキャンペーンが行われました。河川の掃除ということなんですが、河川の掃除にならない部分があるんですね。私も毎年行って毎年怒られるのは、何とかしてくれよ、あの雑木・雑草は。川じゃないんじゃないか。確かに県土木のほうで結構きれいにしてもらってはいますけども、追いつかないですね。聞くところによると、ああいう雑木・雑草が生えるというのは、上流に水源ダム、砂防ダムできたからということなんですが、それを除くわけにはいかないわけなんで。本当にそれが原因だとすれば、やっぱりある部分、相当県のほうで対応してもらわなきゃいけないと。私も松田に県土木があるときには、しょっちゅうじゃないですけど、年に1回か2回行ってお願ひしてきました。その都度やってもらったことがあるんですが、あんまり言っちゃいけないかわからないですけど、自然保護団体の反対があつてだめになったとか、いろんなケースがあります。これは結果的な話であつて、定期的にやっぱりそういうものを掃除する。そういうことを県との調整というか、契約というか、そういうものを、できるとすればですね、ぜひお願ひしたいし、そうでないとやっぱり川音川、酒匂川は水源の水ですからね。あの水が横浜、時によつたら東京まで行くような

んですけども。そういうことを考えると、かなり強い形でそういう部分を要求してもいいんじゃないかと思いますが、その辺についてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

まちづくり課長 お答えします。御指摘のとおり、酒匂川、川音川、寄の中津川、河川ですね。全ての河川においてですね、中州部分がですね、樹林化されてですね、森のようになっていると。また草も多く生えているという状況はおっしゃるとおりだと思います。町としましても事あるごとに県に要望、また地域の自治会からですね、整備をしてもらえないかということで、たび重なる要望を受けております。町当局としてもですね、県西土木事務所、また直接神奈川県河川関係のところですね、お願いをしてるところでもございますが、まず1番に堤防の高さであるとか、堤防が壊れているとか、そういった補修が1番であるというのは、河川管理者の方のおっしゃるとおりだと思います。直接的に生命・財産を守るための施設を管理するという費用にまず一番最初にお金が回りますよと。その中で環境整備、またはそういった樹木の伐採ということに2番目に回ってきますということで、なかなか予算のない中で御尽力を賜ってるところでございます。またですね、重ね合わせて要望してまいります。ということで御理解いただければと思います。

9 番 石 内 ぜひですね、その都度要望ということではなくて、やはり定期的にわかってるわけですから、これはかなりの年度計画か何か入れていただいでですね、その辺の予算取りを明確にさせていただくような要望のほうが、私はいいいんじゃないかと思います。そうすべきだと思うんで、その辺を含めてぜひもう一度御回答をよろしく。

まちづくり課長 実はですね、川音川につきましては事業計画が既に進行しております。中丸公園の前から順次上流に向かってですね、毎年100メートルぐらいの区間をですね、樹林化を防止しながら河床整理をしていくという形で事業決定されてるものもございます。酒匂川につきましてはですね、沿線の流域全体の距離がもうございますので、なかなか松田のところだけをというふうにもいきませんので、酒匂川全体の中での考えになると思います。そういった今御指摘にあった事業を計画的にということも含めて要望してまいります。以上です。

9 番 石 内 ぜひそういう方法、具体的にお願いしたいんですが。なぜそんなに強く言うかという、実態がそうだとということと、先ほど言いましたクリーンキャンペーンでね、四、五百人の方が集まってきてやっていただいているんですよ。あの川音川だけでも。あの力大変なものだと思うんですね。だから確かに河川のクリーンキャンペーンっていったら、本当は河原が見えるところのごみを拾うべきだけど、あそこの今現状やってるっていうのはもう、先ほど彼が言いましたように、林の中とか草むらの中のごみを探してるような状況ですよ。そういうのを含めて、せっかくの町民の協力体制をですね、変な形で終わらせたくないし、ぜひそういう部分を含めて、またあの協力体制をですね、何らかの形、これも交流の一つの対応だと思いますので、ぜひ町のいろんな意味での活用につなげていただければと思いますので、要望を含めて終わりにします。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第6号、石内浩君の一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。3時20分から再開いたします。 (15時03分)